

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

📌 宮崎県第2週の発生動向

□ トピックス

・新型コロナウイルス感染症 (指定感染症) の報告が243例あり、2021年の累積報告数は692例となった。

□ 全数報告の感染症 (2週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 2 例。4 類感染症：つつが虫病 2 例。
- 5 類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 例。

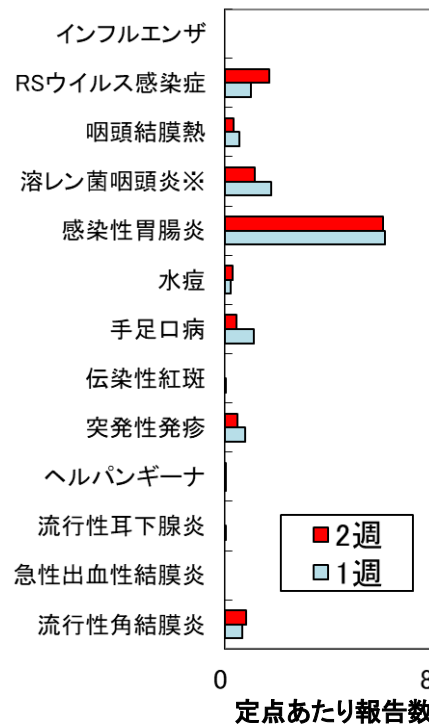
	疾患名	保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	男	肺結核及び骨結核	胸痛
		日向	80歳代	男	肺結核	痰、発熱
3類	腸管出血性大腸菌感染症	都城	0~4歳	女	—	腹痛、水様性下痢、血便、O26(VT1)
			40歳代	男	—	軟便、O26(VT型不明)
4類	つつが虫病	日南	80歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹
		日向	60歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	宮崎市	80歳代	男	—	ショック、DIC、中枢神経症状
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	宮崎市	60歳代	男	—	発熱

□ 指定感染症 (2週までに新たに届出のあったもの)

○新型コロナウイルス感染症 243 例：保健所別、年齢別報告数は表のとおりで、主な症状は発熱、咳、全身倦怠感、咽頭痛、嗅覚・味覚障害等であった。

保健所	報告数	年齢群									
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
宮崎市	164例	5	24	33	20	24	18	12	15	9	4
都城	31例	1	3	4	5	1	4	3	6	3	1
延岡	9例		1	3	2	2				1	
日南	10例	1			3	1	1	3	1		
小林	3例			1	2						
高鍋	19例	1	1	3	2	2	4	2		3	1
日向	1例				1						
中央	1例					1					
県外	5例			3	2						

《前週との比較》



□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は386人(定点当たり11.4)で、前週比91%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症と水痘で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び手足口病であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【RSウイルス感染症】

報告数は62人(1.7)で、前週比168%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.74)の約2.3倍であった。都城(4.7)、日南(3.3)、高鍋(1.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は1~2歳が全体の約8割を占めた。

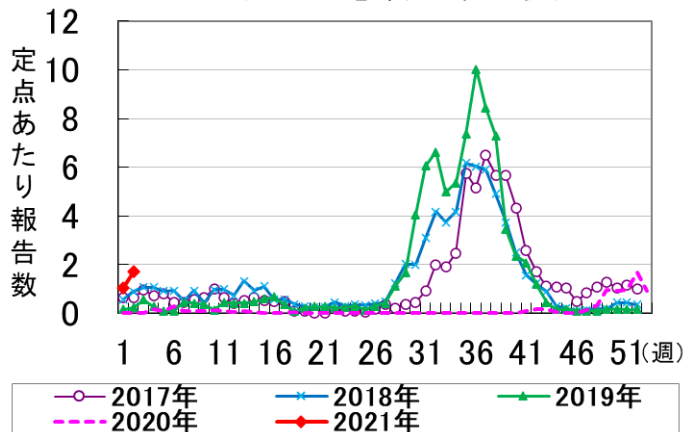
【感染性胃腸炎】

報告数は220人(6.1)で、前週比99%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(10.3)の約0.6倍であった。高千穂(17.0)、延岡(12.0)、中央(9.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1~2歳が全体の約4割を占めた。

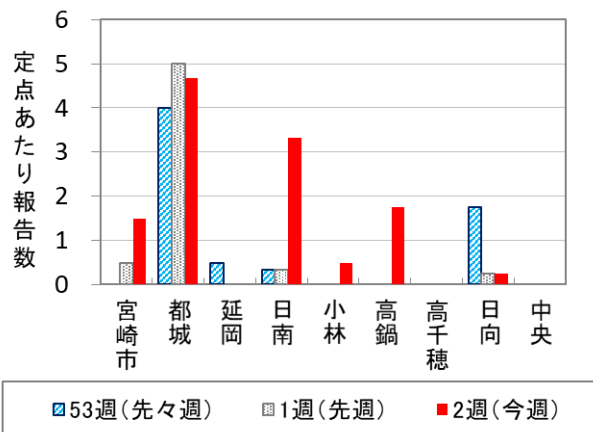
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

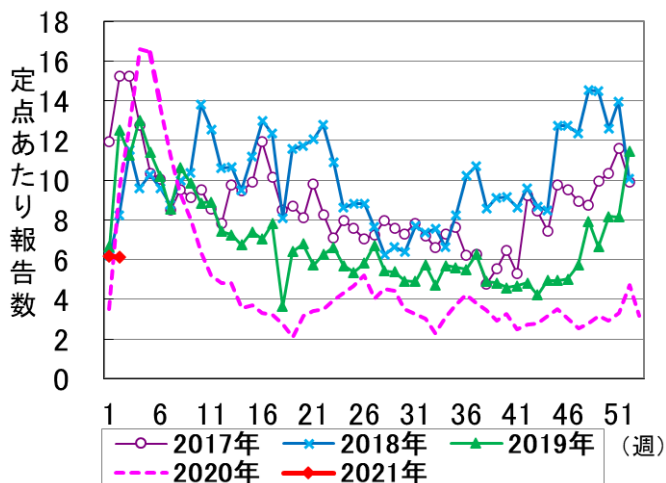
RSウイルス感染症 発生状況



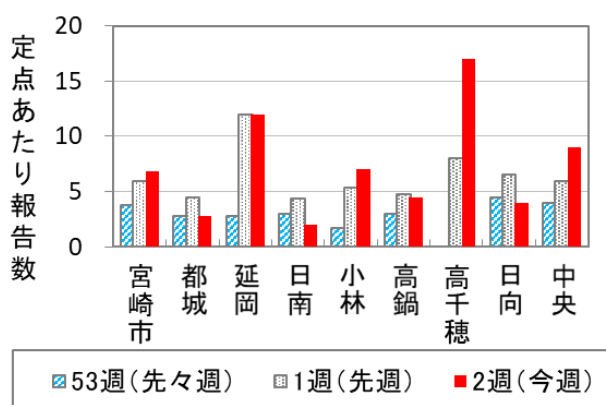
RSウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	水痘(2.7)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値*
・水痘(2)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和3年1月18日までに検出）

★細菌 報告なし。

★ウイルス 報告なし。

📊 全国 2021 年第 1 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 1 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	187 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	11 例				
4類感染症	E 型肝炎	10 例	A 型肝炎	1 例	つつが虫病	18 例
	レジオネラ症	12 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	8 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	13 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6 例	後天性免疫不全症候群	2 例	ジアルジア症	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	9 例	侵襲性肺炎球菌感染症	22 例	水痘（入院例）	2 例
	梅毒	32 例	播種性クリプトコックス症	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	百日咳	8 例				

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム(新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS))へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週(年末年始を含む)比 160%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は咽頭結膜熱、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及び水痘で、減少した主な疾患はヘルパンギーナであった。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 1,670 人(0.5)で前週比 151%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.8)の約 0.3 倍であった。鳥取県(2.8)、山形県(1.9)、宮崎県(1.8)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 5 歳が全体の約 4 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 6,936 人(2.2)で前週比 155%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(6.1)の約 0.4 倍であった。鹿児島県(7.9)、熊本県(6.8)、宮崎県(6.2)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 3 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2020年12月>

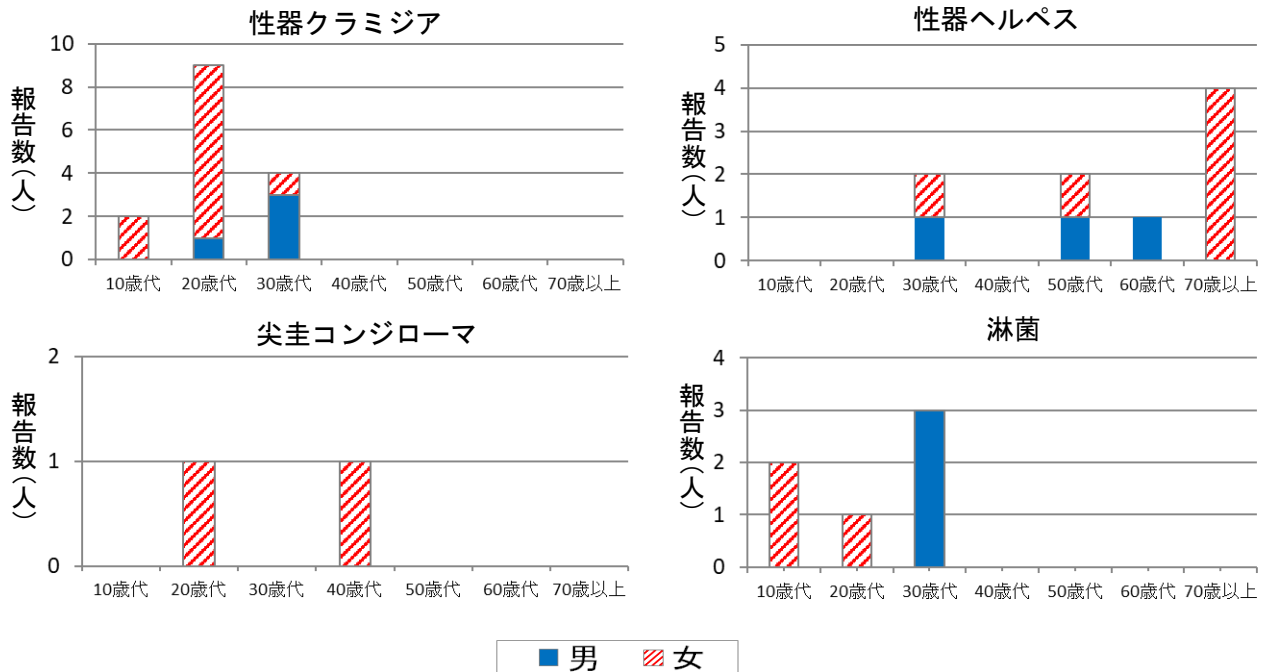
性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は32人(2.5)で、前月比65%と減少した。また、昨年12月(2.2)の115%であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数15人(1.2)で、前月及び昨年12月の約0.6倍であった。
20歳代が全体の6割を占めた。(男性4人・女性11人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数9人(0.69)で、前月の約0.8倍、昨年12月の約4.6倍であった。(男性3人・女性6人)
- 尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、前月と同率であった(昨年12月は報告なし)。(女性2人)
- 淋菌感染症：報告数6人(0.46)で前月の約0.8倍であった(昨年12月は報告なし)。(男性3人、女性3人)



【全国】 定点医療機関総数：982

定点医療機関からの報告総数は4,226人(4.3)で、前月比103%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,305人(2.4)で前月比104%、性器ヘルペスウイルス感染症745人(0.76)で前月比106%、尖圭コンジローマ451人(0.46)で前月比112%、淋菌感染症725人(0.74)で前月比94%であった。

薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は17人(2.4)で、前月比94%と減少した。また、昨年12月(1.4)の170%であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数17人(2.4)で、前月の約0.9倍、昨年12月の約1.7倍であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：479

定点医療機関からの報告総数は1,281人(2.7)で、前月比100%と横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,210人(2.5)で前月比104%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症63人(0.13)で前月比62%、薬剤耐性緑膿菌感染症8人(0.02)で前月比100%であった。

疾病名		第1週	第2週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	37	62	15	28		10	1	7		1	
	定点当り	1.03	1.72	1.50	4.67	0.00	3.33	0.33	1.75	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	20	12	3	4	1	1		3			
	定点当り	0.56	0.33	0.30	0.67	0.25	0.33	0.00	0.75	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	64	42	10	5	13	4	1	9			
	定点当り	1.78	1.17	1.00	0.83	3.25	1.33	0.33	2.25	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	223	220	68	17	48	6	21	18	17	16	9
	定点当り	6.19	6.11	6.80	2.83	12.00	2.00	7.00	4.50	17.00	4.00	9.00
水痘	報告数	8	11	1		1	8				1	
	定点当り	0.22	0.31	0.10	0.00	0.25	2.67	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	41	16	8	3		3	1	1			
	定点当り	1.14	0.44	0.80	0.50	0.00	1.00	0.33	0.25	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	28	17	7	3		2	1	3		1	
	定点当り	0.78	0.47	0.70	0.50	0.00	0.67	0.33	0.75	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	1		1							
	定点当り	0.06	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2										
	定点当り	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	4	5	2	1	2						
	定点当り	0.67	0.83	0.67	0.50	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2021年第1週～2週)

2類感染症	結核	4例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2例(2)		
4類感染症	E型肝炎	2例	つつが虫病	10例(2)
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例(1)	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例(1)
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	692例(243)		

()内は今週届出分、再掲